

# Defi AD Logger アプリのご使用方法

## ご使用前の準備

### ① アプリインストール

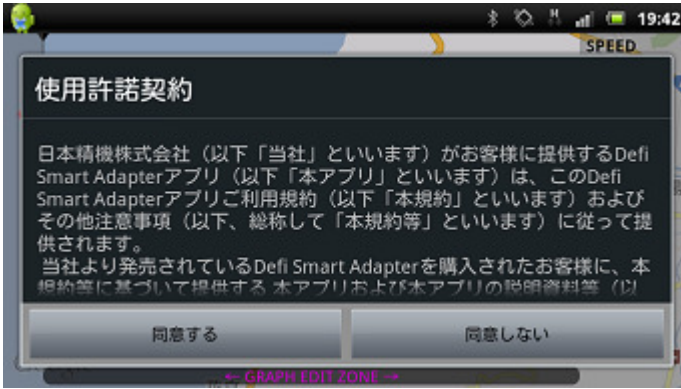
Google Play アプリを起動し、検索で“Defi AD Logger”と入力すると検索できますので、インストールしてください。

### ② Smart Adapter とのペアリング

Smart Adapter の動作表示インジケータが1秒に1回の点滅をしていることを確認し、携帯端末の Bluetooth 設定から端末のスキャンを行って、“Defi BT-Adp \*\*BT アドレス\*\*”とペアリングしてください。ペアリング時に PIN コードを要求されたら、“0123”を入力してください。ペアリング方法の詳細は携帯端末の取扱説明書を参照ください。

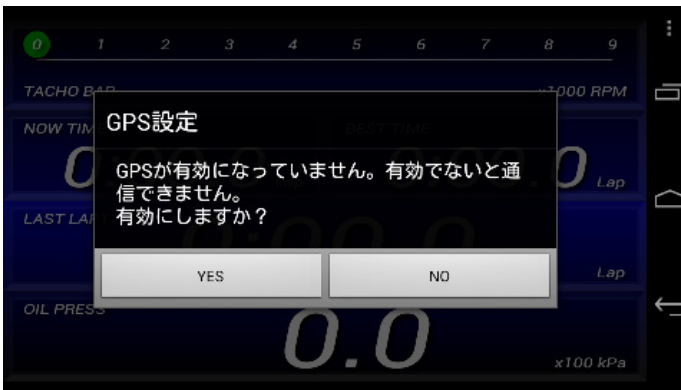
## 【Smart Adapter との接続】

- ① アプリを起動すると使用許諾が表示されますので、記載事項に同意していただけたら、『同意する』をタッチしてください。

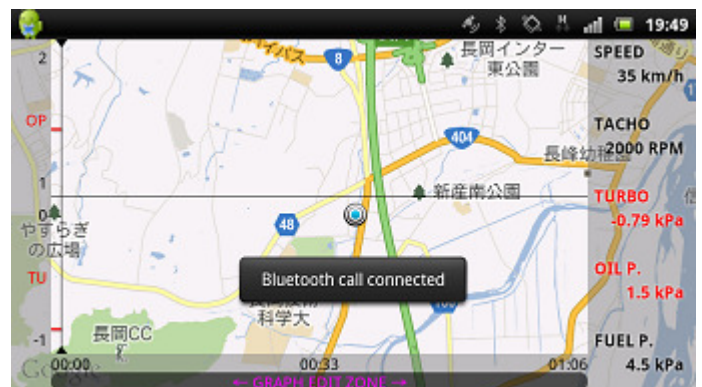


- ② 携帯端末のメニュースイッチを押すと画面下にメニューバーが表示されるので、『通信』にタッチし、『Defi BT-Adp \*\*BTアドレス\*\*』が表示されるので、タッチしてください。  
通信をする前にペアリングが終わっている必要がありますので、ペアリングを行っていない場合は、最初にペアリングを行ってください。

GPSを有効にしていない場合は、GPS機能を使用にチェックして、再度メニューから『通信』にタッチしてください。

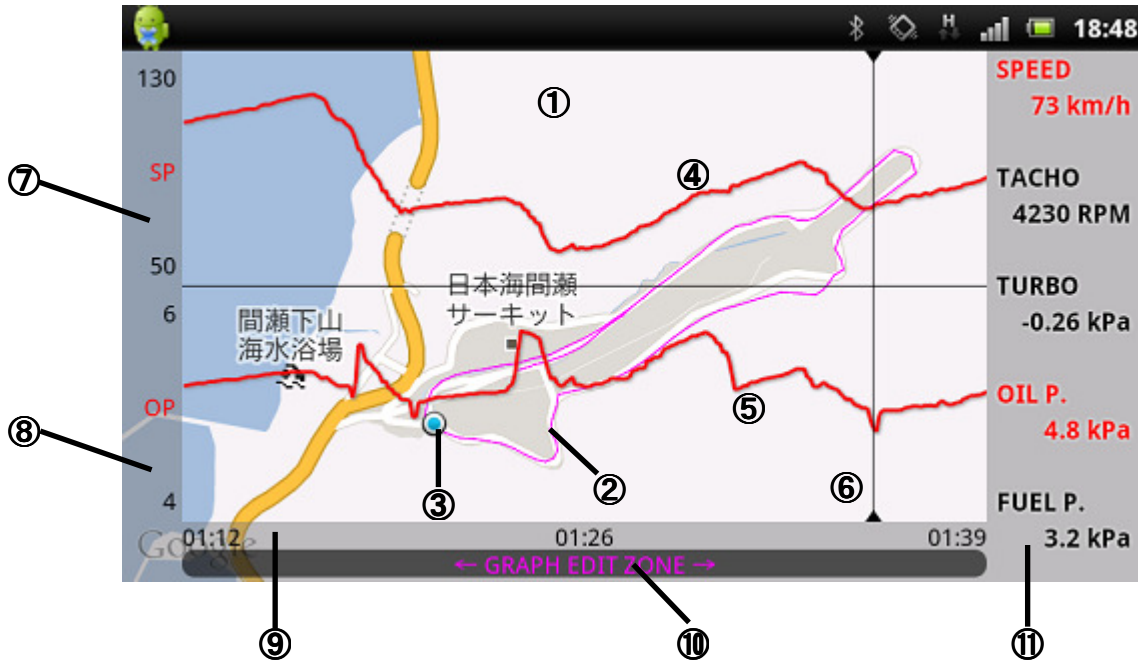


- ③ Smart Adapter との接続を開始すると、GPSによる位置情報取得を開始し、位置情報が取得されると Bluetooth 接続が開始されます。



## 【表示画面説明】

### MAP 画面



- ① 地図表示エリア  
地図が表示されるエリア(ムーブ : 地図移動、ピンチイン/ピンチアウト : 縮小/拡大)
- ② 走行軌跡表示  
走行した軌跡を表示
- ③ 自車位置表示  
自車位置表示
- ④ グラフ 1 表示  
グラフ上段に選択されている機種を表示
- ⑤ グラフ 2 表示  
グラフ下段に選択されている機種を表示(デジタル数値表示エリアで機種を選択すると、グラフに表示される)
- ⑥ 横軸カーソル  
横軸カーソルの位置の数値がデジタル数値表示エリアに表示(ドラッグで移動可能)
- ⑦ グラフ 1 縦軸  
グラフ 1 での選択機種の縦軸スケールを表示
- ⑧ グラフ 2 縦軸  
グラフ 2 での選択機種の縦軸スケールを表示
- ⑨ グラフ横軸  
グラフの横軸を表示(aa:bb aa分、bb秒)
- ⑩ グラフエディットゾーン  
ムーブで横軸を移動、ピンチイン/ピンチアウトで縮小拡大
- ⑪ デジタル数値表示エリア  
デジタル数値表示エリアで機種を選択すると、グラフに表示可能  
新たに追加される機種はグラフ 2(下段)に追加され、グラフ 2 に表示されていた機種はグラフ 1(上段)に移動される

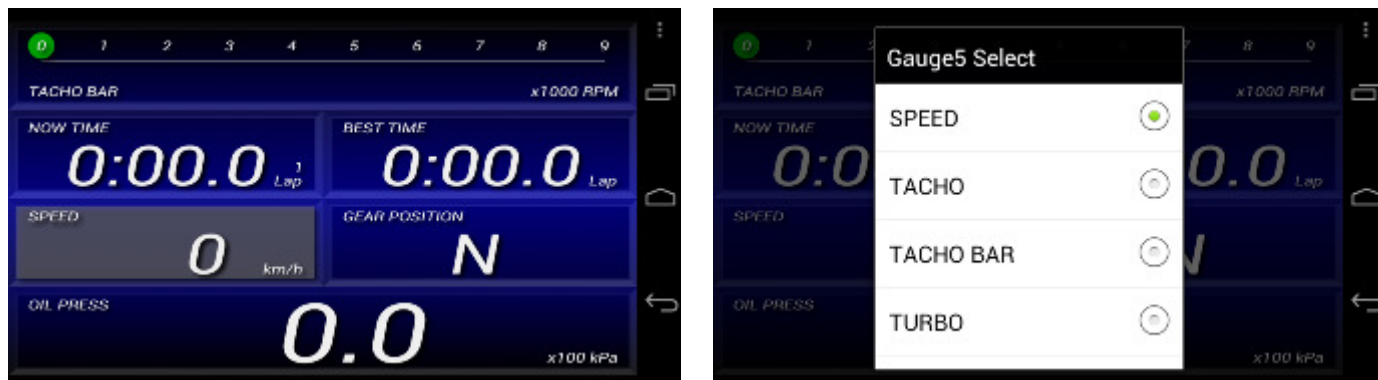
## 【表示画面説明】

### ラップ画面



### 表示機種変更

機種表示をタッチし、リスト表示から選択します。



### 表示サイズ変更

A サイズでフリックすると B サイズに変更され、B サイズでフリックすると A サイズに変更されます。



縦表示画面では最大 12 機種表示可能  
横画面表示では最大 8 機種表示可能

<b>表示項目</b>	<b>説明</b>
SPEED	車速
TACHO	エンジン回転信号
TACHO BAR	エンジン回転のバー表示とギアポジション表示(B サイズのみ)
TURBO	吸気圧
OIL P.	油圧
FUEL P.	燃圧
OIL T.	油温
WATER T.	水温
EXT. T.	排気温度
VOLT	電圧
THROTTLE	スロットル開度(OBD 接続時のみ)
IN-AIR T.	吸気温度(OBD 接続時のみ)
GEAR	ギアポジション(車速とエンジン回転が入力しているときに表示可能)
GX	横 G(端末の G センサー値)
GY	前後 G(端末の G センサー値)
NOW TIME	現在のラップタイム
BEST TIME	選択されているコースでのベストタイム
LAST LAP1	選択されているコースでの1周前のタイム
LAST LAP2	選択されているコースでの2周前のタイム
LAST LAP3	選択されているコースでの3周前のタイム

## 【メニューバー説明】

メニュースイッチを押すと画面の下にメニューバーが表示されます。



- 通信 : SmartAdapter との通信を行います。初めに通信する前に、ペアリングを完了している必要があります。
- 計測 : タイム計測を行います。コースを選択するか、コースを選択せずにロギングのみ行うかを選択します。
- 解析 : 計測で記録したデータを読み込んで、走行軌跡や車両情報を確認できます。
- コース : 計測で使用するコースを作成したり、各コースで測定した計測タイムを確認できます。
- 画面切替 : MAP 画面とラップ画面を切り替えます。
- その他(設定) : 各種設定を行います。
- その他(共有) : 表示画面をキャプチャーし、他のアプリケーションと画像の共有ができます。

## 【通信】

2 ページ目の【Smart Adapter との接続】を参照ください。

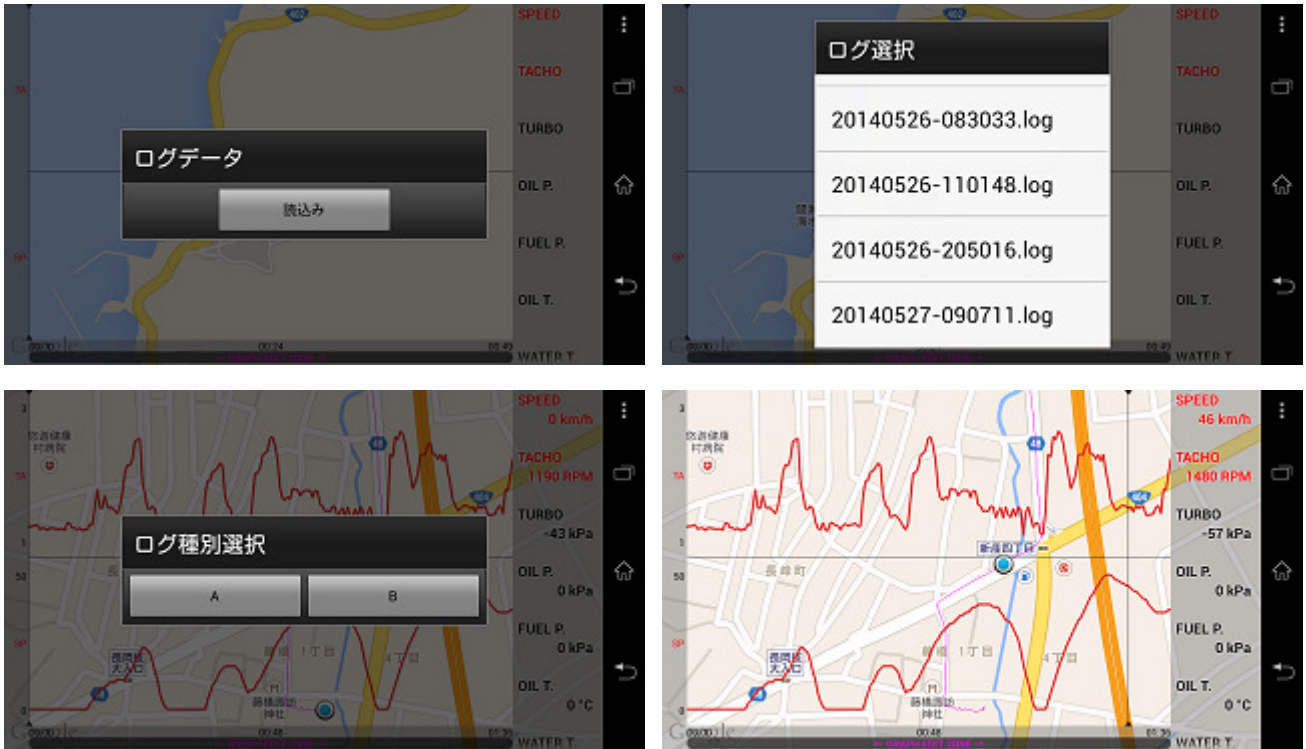
## 【計測】

計測にタッチすると、コースを使用する／使用しないの選択ダイアログが表示されます。コースを使用するを選択した場合は、あらかじめ作成しておいたコースを選択します。コースが選択されると、タイム計測が開始されます。コースを作成する場合は、メニューバーの“コース”を選択してください。



## 【解析】

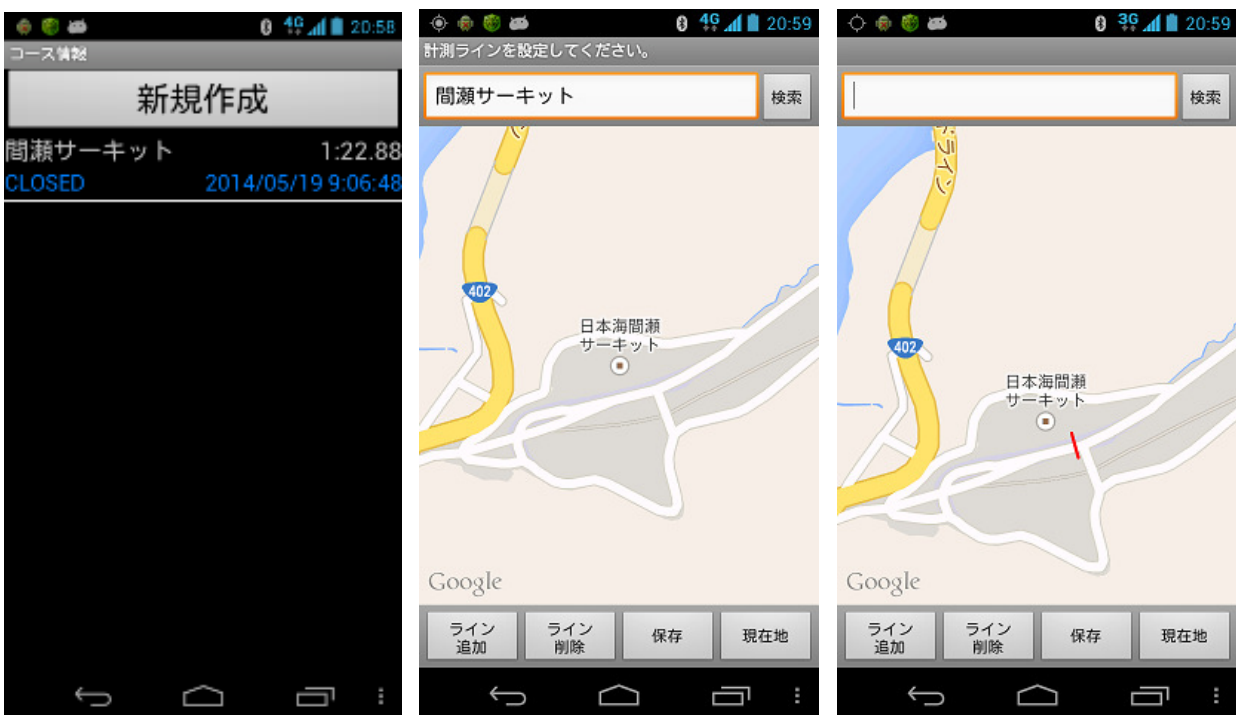
記録したログデータを選択し、ログ種別選択でAとして読み込むと赤色で表示され、Bとして読み込むと青色で表示され、同時に2種類のログデータが表示可能です。



## 【コース】

新規作成ボタンにタッチすると、Google MAPが表示されます。地名などを入力して検索することもできます。下図の例では間瀬サーキットを検索した場合です。現在地ボタンにタッチすると、現在地を中心に表示します。

計測ラインを追加するには、ライン追加ボタンにタッチし、MAP上で2点にタッチします。タッチした2点間で直線が引かれ、このラインを横切った際にラップタイムが更新されます。



注：【設定】メニューの【コース設定】でCLOSEDを選択している場合はラインは1本しか設定できません。OPENを選択している場合はスタートとゴールの2ラインを設定する必要があります。

### 【画面切替】

MAP 画面とラップ画面の切り替えを行います。



### 【その他(設定)】

次ページの**各種設定方法**を参照ください。

### 【その他(共有)】

11 ページの【共有】を参照ください。

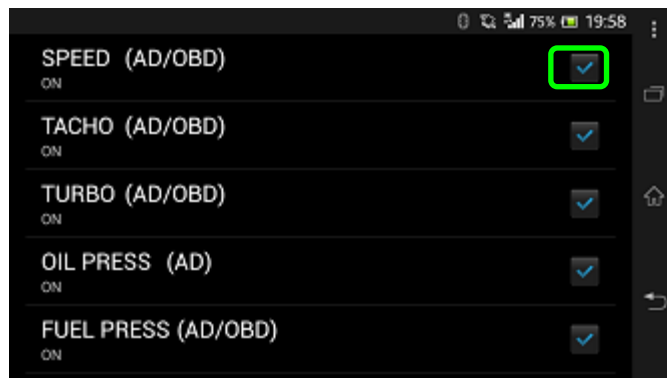
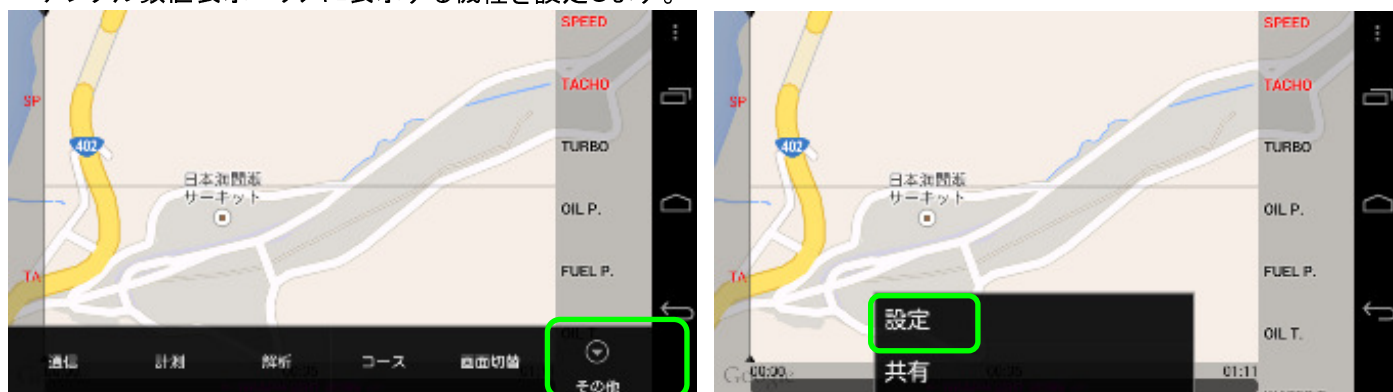


## 各種設定方法

【ゲージ設定】：メニュースイッチ→『その他』→『設定』→『デジタル表示』

『デジタル表示』

デジタル数値表示エリアに表示する機種を設定します。



チェックした機種が表示されます。

『タコバースケール設定』

タコバースケールのフルスケールを3種類の中から選択できます。



- 『ギアポジション適用範囲』 : 最高ギアが何速まであるかを設定します。
- 『ギアポジション算出用車速入力』 : 各ギアポジションで、エンジン回転数が 2,000rpm のときの車速値がいくつかを入力します。この設定を行わないと、ギアポジションが正確に表示されません。



- 【グラフ設定】 : メニュースイッチ→『その他』→『設定』→『グラフ設定』  
『グラフ表示』  
グラフ表示の ON/OFF を設定します。

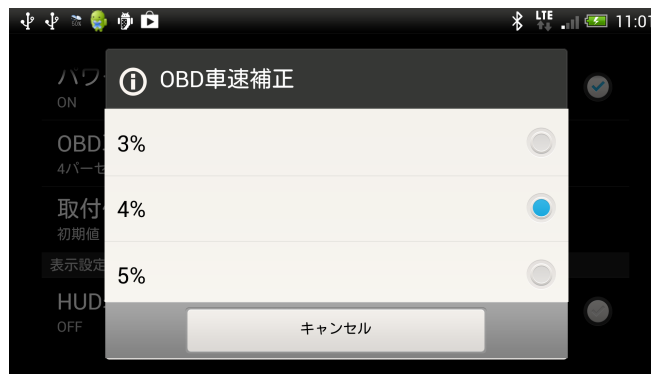


- 【コース設定】 : メニュースイッチ→『その他』→『設定』→『コース設定』  
コース作成時に、OPEN(オープン)コースで作成するか、CLOSED(クローズド)コースで作成するかを選択します。OPEN コースはスタートとゴールが別の位置にある場合で、CLOSED コースはサーキットなどで周回する場合に選択します。



【システム設定】メニュースイッチ→『設定』→

- 『Bluetooth 自動接続』 : チェックボックスにチェックすると、ON になります。  
Bluetooth 自動接続を ON に設定すると、アプリ起動中に Smart Adapter との接続が切断されている場合に、自動で接続されるように動作します。
- 『使用許諾契約書スキップ』 : チェックボックスにチェックすると、アプリ起動時に表示される使用許諾ウィンドウが表示されません。
- 『パワーセーブモード』 : チェックボックスにチェックすると、スマートアダプターと接続中に、車速 0km/h が 10 秒以上続いたときに、バックライトを自動で暗くして消費電流を減らします。  
ただし、携帯端末の機種によって正常に動作しない場合があります。
- 『OBD 車速補正』 : OBD II に接続して使用している場合に有効になります。  
OBD II から入力した車速値に対して、-10%~+10%の範囲で補正できます。  
初期値 : 3%



【表示設定】



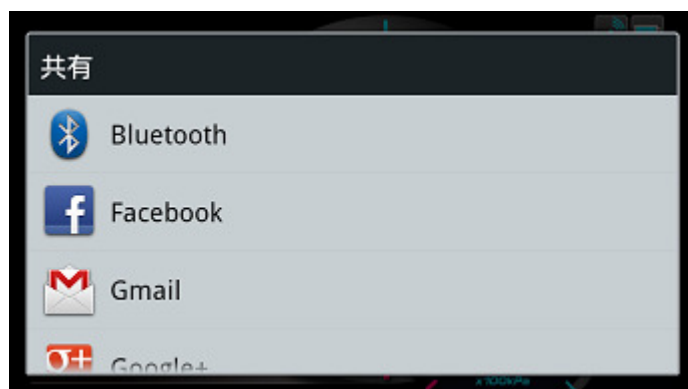
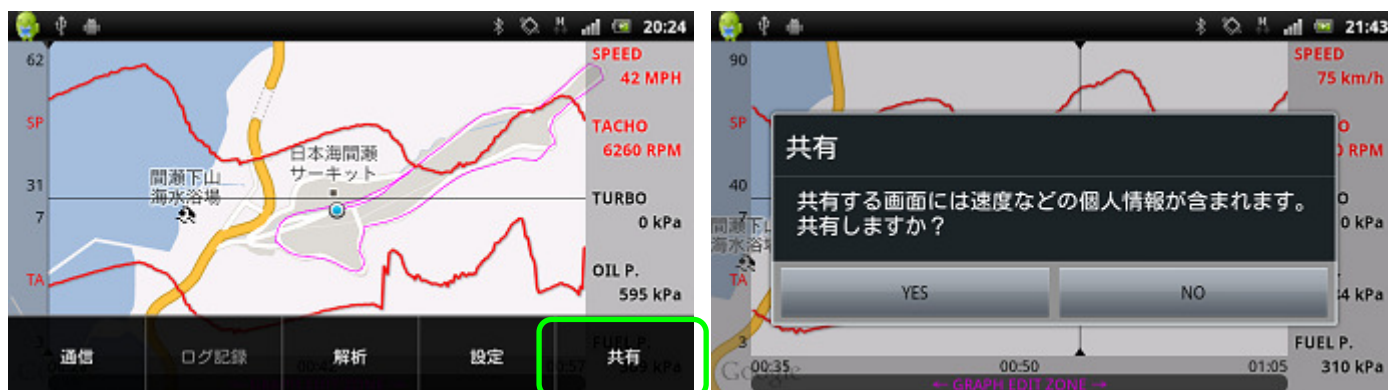
- 『走行軌跡色』 : MAP 上に表示される走行軌跡の表示色を設定します。
- 『グラフ A 色』 : グラフ A に表示されるグラフの表示色を設定します。
- 『グラフ B 色』 : グラフ B に表示されるグラフの表示色を設定します。
- 『ラップ計測画面背景』 : ラップ計測画面の背景色を設定します。

【共有】メニュースイッチ→『その他』→『共有』

現在表示されている画面をキャプチャして絵データとして共有できる機能です。

共有をタッチすると、共有確認メッセージが表示され、YESを選択すると、絵データの送付先が選択できます。

絵データには車速などの車両情報が含まれており、個人情報となる場合がありますのでご注意ください。



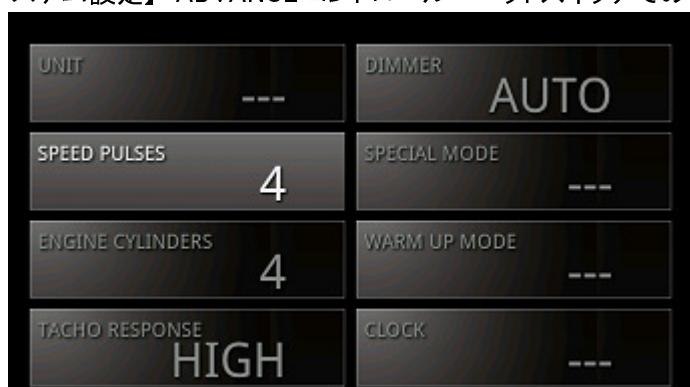
## ADVANCE コントロールユニットでの操作

【ワーニング設定】 ADVANCE コントロールユニットスイッチでの操作(スライドスイッチ:SET、WARN SET スイッチ単押し)



詳細は ADVANCE コントロールユニットの操作説明を読んでください。  
設定が終了したら、スライドスイッチを REAL の位置に移動してください。

【システム設定】 ADVANCE コントロールユニットスイッチでの操作(スライドスイッチ:SET、WARN SET スイッチ長押し)



コントロールユニットの UP/DOWN スイッチで項目を選択し、WARN SET スイッチを押すと設定内容を変更できます。  
設定が終了したら、スライドスイッチを REAL の位置に移動してください。

表示	設定	設定値
UNIT	単位設定	※
SPEED PULSES	車速パルス設定	2,4,8,16,FREE
ENGINE CYLINDERS	気筒数設定	1,2,3,4,5,6,8
TACHO RESPONSE	タコメーターレスポンス設定	HIGH,MID,LOW
DIMMER	調光設定	※
SPECIAL MODE	スペシャルモード設定	※
WARM UP MODE	ウォームアップ設定	※
CLOCK	時計設定	※

※ADVANCE ZD での設定項目で、本アプリでは設定できません。

- ・ 車速パルス設定  
車の仕様に応じて変更する必要があります。日産車以外では4パルス設定に設定してください。  
車速パルスが分からない場合や、補正したい場合は FREE を選択し、60km/h で走行中にその時入力されている車速パルス情報を 60km/h と記憶して設定することができます。
- ・ 気筒数設定  
エンジン気筒数に合わせて設定してください。  
(点火信号を入力している場合は、1または2気筒設定で正常に動作する場合があります。)
- ・ タコメーターレスポンス設定  
タコメーターの応答性を設定します。HIGH にすると応答性が速く、LOW にすると遅くなります。